環境経営レポート

2022 期

対象期間： 2022年 10月 ～ 2023年 9月
発　　行： 2023年 12月

ムソー工業株式会社

MUSO

目　次

Ⅰ　環境経営方針

Ⅱ　環境経営目標

Ⅲ　環境活動計画

Ⅳ　環境関連法規

Ⅴ　実施体制

Ⅵ　関連する法規制順守状況一覧表

Ⅶ　外部からの苦情等の受付結果

Ⅷ　環境活動実施状況と評価結果

Ⅸ　問題点の是正処置報告書

Ⅹ　代表者の取組みの評価と見直し結果

Ⅰ.環境経営方針

2022期

◆　環境理念

現代の大型化・複雑化した機械、装置、構造物などは、僅かなミスが重大な事故に繋がり、その人的・経済的損失は莫大なものです。こうした事故を未然に防ぐ為の材料強度試験は環境保全の上からも一層必要となっています。

ムソー工業は材料試験片製作という、環境負荷低減を根本から支える事業活動を通して、全社員が積極的に環境活動に参加いたします。

◆　環境経営方針

1　当社の事業活動によって生じる環境負荷を把握し、環境活動の継続的な改善に努めます。

- 廃棄物の削減、分別に努め、リサイクルを推進します。
- CO2の排出削減に努め環境負荷の継続的改善をすすめます。
- 化学物質の使用削減に努めます。
- 水資源の節約に努めます。

2　自らが生産・提供する製品や事業活動全般において、効率的運行・運用を図ります。また、正しい試験状況を提供することで産業と技術革新の基盤造りを担い、環境を含め社会に貢献致します。

3　環境関連法規制等の遵守
関連する法律、規制等の基準を遵守し、地域の環境保全活動に積極的に参加します。

4　環境コミュニケーションの実施

- この方針を全従業員へ周知し、環境保全に対する意識向上をはかります。
- 環境目標、活動計画を策定し、取組結果を環境活動レポートにて公開いたします。

2022年10月1日

ムソー工業株式会社

代表取締役　尾針徹治

Ⅱ.環境経営目標

2022期

作成日： 2023/12/20
作成者： 尾針　円

項目名		2021期	2022期（10月～翌9月）			2023期（10月～翌9月）	2024期（10月～翌9月）
		実績	目標	実績	前年比	目標	目標
	売上100万円あたり排出量	596	590	602	101.2%	601	601
	総排出量	61,089	72,549	64,972	106.4%	71,204	71,204
CO2排出量削減	ⅰ-電力		前期比△1%			2022期維持	2023期維持
	・売上100万円あたり排出量	463.28	458.64	472.33	102.0%	472.33	472.33
			前期売上対比+20%			2022期売上対比+10%	2023期維持
	・総排出量　Kg	47,525	57,030	50,936	107.2%	56,030	56,030
	ⅱ-自動車燃料（ガソリン）		前期比△1%			2022期維持	2023期維持
	・売上100万円あたり排出量	78.13	77.35	84.18	107.7%	83.34	83.34
			売上対比+20%			2022期売上対比+10%	2023期維持
	・総排出量　Kg	8,015	9,618	9,078	113.3%	9,985	9,985
	ⅱ-自動車燃料（軽油）		前期比△1%			2022期維持	2023期維持
	・売上100万円あたり排出量	17.12	16.94	21.42	125.1%	21.20	21.20
			売上対比+20%			2022期売上対比+10%	2023期維持
	・総排出量　Kg	1,756	2,107	2,310	131.5%	2,541	2,541
	ⅲ-灯油		前期維持			前期維持	2023期維持
	・売上100万円あたり排出量	36.12	36.12	23.90	66.2%	23.90	23.90
	・総排出量　Kg	3,705	3,705	2,577	69.6%	2,577	2,577
	ⅳ-都市ガス		前期維持			前期維持	2023期維持
	・売上100万円あたり排出量	0.86	0.86	0.66	76.6%	0.66	0.66
	・総排出量　Kg	89	89	71	80.5%	71	71
節水	ⅴ-水 年間排出量　㎥	114	前期維持 114	138	121.1%	前期維持 138	2023期維持 138

「特定排出者の温室効果ガス排出量算定用」（R4.1.7経済産業省・環境省）に基づき算出

購入電力排出係数：　0.456 (Kg-CO2/kwh)
※東京電力エナジーパートナー
都市ガス排出係数：　2.16 (Kg-CO2/L)

ガソリン排出係数：　2.32 (Kg-CO2/L)
軽油排出係数：　2.58 (Kg-CO2/L)
灯油排出係数：　2.49 (Kg-CO2/L)

Ⅲ.環境活動計画

2022期

活　動　計　画	期待できる効果	担当者	状況	総　　括	来期目標
品質管理の徹底	節電・節水・廃棄物削減	小井土・岩崎	実施	品質管理規定に具体性のない箇所があるため、実態に即したものへ更新する必要があると思われる。	品質管理規定の見直し
工程のチェック・申し送りの綿密さにより加工ミスを防止		鈴木・中城	実施	概ね一ヶ月に一度行われる製造部会議にてミスやヒヤリハット事例の共有。各ミス等を防ぐための工夫について話し合いを開始した。	会議を継続していくとともに蓄積した事例対応を強化していく
ダブルチェックの徹底		中城	実施	担当外の者が確認することで別の視点からのチェックとなり、ミスを防げた。	チェック方法の効率化を検討。文書で残す際の手間が課題。
引取・納品計画	自動車燃料の節約	久島・坂本	実施	無理なく早く納品が可能なように実効性のある計画をたてる。	計画の精度を上げる。
交通状況の共有等による渋滞の回避			実施	天候やその他、事前に回避できそうな場合は別日にするなど、随時調整を行う。	引き続き実施する。
同方向の引取・納品をまとめる			実施	早めの納品を前提としつつも、可能な限り納品日を揃え、一度に複数の納品が可能となるように現場とも工程の調整を図る。	引き続き実施し、より効率の良い方法を検討する。
PC等の適切な電源管理	節電	円	実施	デスクトップに過剰なデータを保存しないよう周知し、合わせて在宅勤務にも対応できるよう各PCの設定を更新。	より効率的な運用を模索する。
適切な消灯・空調管理	節電	第一：原 第二：岩崎 事務所：円	実施	予てから実施済みではあるが、改めて消灯や適切な空調管理に務める。	引き続き実施し、効果的な施策などがある場合は情報共有してゆく。

Ⅷ.環境活動実施状況と評価結果

2022期

作成日： 2023/12/20

作成者： 尾針　円

	項目名	2021期	2022期（10月～翌9月）			評価
		実績	目標	実績	前年比	
	売上100万円あたり排出量	**596**	**590**	**602**	**101.2%**	X
	総排出量	**61,089**	**72,549**	**64,972**	**106.4%**	
CO2排出量削減	ⅰ-電力		前期比△1%			X
	・売上100万円あたり排出量	**463.28**	458.64	**472.33**	102.0%	
			前期売上対比+20%			
	・総排出量　Kg	**47,525**	57,030	**50,936**	107.2%	
	ⅱ-自動車燃料（ガソリン）		前期比△1%			X
	・売上100万円あたり排出量	**78.13**	77.35	**84.18**	107.7%	
			前期売上対比+20%			
	・総排出量　Kg	**8,015**	9,618	**9,078**	113.3%	
	ⅱ-自動車燃料（軽油）		前期比△1%			X
	・売上100万円あたり排出量	**17.12**	16.94	**21.42**	125.1%	
			前期売上対比+20%			
	・総排出量　Kg	**1,756**	2,107	**2,310**	131.5%	
	ⅲ-灯油		前期維持			○
	・売上100万円あたり排出量	**36.12**	36.12	**23.90**	66.2%	
	・総排出量　Kg	**3,705**	3,705	**2,577**	69.6%	
	ⅳ-都市ガス		前期維持			○
	・売上100万円あたり排出量	**0.86**	0.86	**0.66**	76.6%	
	・総排出量　Kg	**89**	89	**71**	80.5%	
節水	ⅴ-水 年間排出量　㎥	**114**	前期維持 114	**138**	121.1%	X

「特定排出者の温室効果ガス排出量算定用」（R4.1.7経済産業省・環境省）に基づき算出

購入電力排出係数：　0.456 (Kg-CO2/kwh)

※東京電力エナジーパートナー

都市ガス排出係数：　2.16 (Kg-CO2/L)

ガソリン排出係数：　2.32 (Kg-CO2/L)

軽油排出係数：　2.58 (Kg-CO2/L)

灯油排出係数：　2.49 (Kg-CO2/L)